

平成27年度関東倶楽部対抗千葉第3会場予選競技 組み合わせ及びスタート時間表

(参加者 21倶楽部 ・ 168名)

期日：5月26日(火)

場所：千葉夷隅ゴルフクラブ 東・南コース

(18ホール・ストロークプレー)

関東ゴルフ連盟

1番(東コース)よりスタート

Aクラス

組	時間	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部
1	7:30	水田 文生	ブリック&ウッド	長澤 雅之	千葉廣済堂	高橋 憲一	加茂	安田 良彦	ゴールド木更津
2	7:39	神子 仁	鴨川	畔野 岩男	源氏山	豊田 弘司	万木城	三枝 由夫	鹿野山
3	7:48	久保田 吉夫	房州	高橋 美幸	香取	波田地 俊春	上総富士	小玉 昇	八幡
4	7:57	川田 充利	白鳳	山口 勝示	花生	木村 広幸	大栄	井手 末義	千葉新日本
5	8:06	佐久間 淳	千葉夷隅	茂澤 克己	千葉	丸 善治	館山	福島 耕治	鶴舞
6	8:15	白川 永鎮	千葉桜の里	池田 正志	ブリック&ウッド	磯野 芳	加茂	渡邊 功三	鴨川
7	8:24	石毛 尚起	万木城	長野 道男	房州	大野 良司	上総富士	西山 靖彦	白鳳
8	8:33	関根 英紀	大栄	石倉 真成	千葉夷隅	鈴木 安弘	館山	石井 幹	千葉桜の里
9	8:42	小出 静男	千葉廣済堂	切明 雅信	ゴールド木更津	武井 康郎	源氏山	臼井 秀和	鹿野山
10	8:51	西岡 浩	香取	田中 秀幸	八幡	内藤 千佳司	花生	荻野 幸伸	千葉新日本
11	9:00	新村 ヨシオ	千葉	濱本 信秀	鶴舞	佐藤 正樹	ブリック&ウッド	江隈 昭人	ゴールド木更津
12	9:09	末石 博邦	万木城	並木 幸夫	香取	平瀬 清輝	白鳳	松崎 博彦	千葉新日本
13	9:18	紺野 静雄	館山	出口 徹	千葉廣済堂	起田 茂男	鴨川	宮内 利幸	鹿野山
14	9:27	清水 健介	上総富士	金城 彰	花生	坪井 忠士	千葉夷隅	山崎 哲雄	鶴舞
15	9:36	那須 久治	加茂	斉藤 昇	源氏山	赤間 喜見雄	房州	和泉 信四郎	八幡
16	9:45	山下 武志	大栄	岸 伸一郎	千葉	佐藤 洋三	千葉桜の里	石井 靖人	ブリック&ウッド
17	9:54	君塚 則男	鴨川	早川 光樹	房州	吉岡 康夫	白鳳	塩本 広海	千葉夷隅
18	10:03	森崎 秀嗣	鶴舞	佐藤 鉄男	千葉廣済堂	小林 良	源氏山	紺野 喜重郎	香取
19	10:12	新島 宗太郎	花生	鏑木 重男	千葉	西牧 武志	加茂	小高 俊弘	万木城
20	10:21	伊藤 吉輝	上総富士	宮野 力一	大栄	山本 功一	館山	松本 清	ゴールド木更津
21	10:30	山口 英之	鹿野山	横山 義照	八幡	安田 進	千葉新日本	北林 浩光	千葉桜の里

10番(南コース)よりスタート

Bクラス

組	時間	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部
22	7:30	野口 道男	ブリック&ウッド	横井 文昭	源氏山	高橋 伸英	上総富士	小菅 啓之	千葉新日本
23	7:39	河野 真一	千葉桜の里	石井 孝之	千葉廣済堂	宮下 恵	万木城	森尾 真介	八幡
24	7:48	戸部 政人	千葉夷隅	望月 幹仁	加茂	守 圭司	鹿野山	市原 高一	白鳳
25	7:57	浜島 佳弘	千葉	伊藤 功	ゴールド木更津	福原 一実	房州	大塚 一徳	花生
26	8:06	山城 康博	館山	渡邊 清和	鴨川	榎本 泰夫	香取	安藤 敬一郎	大栄
27	8:15	中村 由一郎	鶴舞	品部 祐児	ブリック&ウッド	大内 剛	万木城	渡辺 良隆	白鳳
28	8:24	笛木 智充	千葉廣済堂	廣部 清隆	館山	渡部 美和	鹿野山	古谷 知英	花生
29	8:33	星野 晃一	鶴舞	嶋野 菊治	加茂	鈴木 教大	房州	蜂谷 和也	大栄
30	8:42	松浦 竜太	源氏山	佐々木 晶彦	ゴールド木更津	松崎 茂	香取	上塚 恒彦	千葉新日本
31	8:51	小松 勝広	鴨川	波多野 泰生	上総富士	清水 充康	千葉夷隅	片宗 禎弘	千葉桜の里
32	9:00	三澤 孝至	八幡	舘浦 圭	千葉	茂呂田 雅幸	ブリック&ウッド	森 孝浩	鹿野山
33	9:09	蜂谷 幸士	大栄	植木 英則	千葉廣済堂	島 正彦	房州	関根 俊夫	千葉新日本
34	9:18	土井 克祥	加茂	明山 仁孝	香取	田村 一美	千葉夷隅	田中 浩	ゴールド木更津
35	9:27	平野 正行	上総富士	粉川 直孝	千葉	樗澤 正彦	鴨川	戸枝 正紀	八幡
36	9:36	豊田 学	館山	山本 高裕	源氏山	木内 宗三郎	白鳳	曾田 一	鶴舞
37	9:45	樋口 新	花生	水野 秀一	万木城	鈴木 忠和	千葉桜の里	高松 純	ブリック&ウッド
38	9:54	亀田 潮路	房州	藤本 和大	千葉夷隅	須田 裕士	千葉廣済堂	芦田 哲也	香取
39	10:03	小林 孝裕	千葉	小川 俊郎	加茂	奥 正昭	上総富士	山口 哲央	館山
40	10:12	落合 隆一郎	ゴールド木更津	小夏 真彦	八幡	森山 恭太郎	鶴舞	鹿野 剛	鴨川
41	10:21	塩田 一史	白鳳	加藤 功	千葉桜の里	山下 裕志	源氏山	大久保 学	花生
42	10:30	山岸 秀人	万木城	田村 康弘	大栄	高槻 啓太	鹿野山	伊藤 泰樹	千葉新日本

競技委員長 児島幸雄

平成 27 年度 関東倶楽部対抗千葉第 3 会場予選競技

開 催 日 : 5 月 26 日(火)

開催コース: 千葉夷隅ゴルフクラブ 東・南コース

本競技は日本ゴルフ協会発行のゴルフ規則とこのローカルルールと競技の条件を適用する。

本書に記載の無い事項や追加変更がある場合は競技規定やプレーヤーへの通知文書、または競技会場での掲示物に掲載されるので必ず参照すること。

ゴルフ規則によって別に定められている場合や本書に罰が記載されている場合を除き、このローカルルールと競技の条件の違反の罰は、「2 打」とする。

ローカルルール

1. アウトオブバウンズ(規則 27-1)

アウトオブバウンズの境界は白杭をもって標示する。

2. ウォーターハザード、ラテラル・ウォーターハザード(規則 26-1)

ウォーターハザードは黄杭または黄線、ラテラル・ウォーターハザードは赤杭または赤線をもってその限界を標示する。線と杭が併用されている場合は線がその限界を標示する。

3. 修理地(規則 25-1)

修理地は青杭を立て、白線をもってその限界を定める。ただし、次のものを含む。

(a) パッティンググリーンの前後のペイントマークを含み、スルーザグリーンの芝草を短く刈った区域にあるヤーデージマーキングペイント(スタンスへの障害は除く)。

4. 動かさない障害物(規則 24-2)

(a) 排水溝

(b) 人工の表面を持つ道路に接した排水溝(その道路の一部とみなす)

(c) 動かさない障害物と白線でつながれている区域(その動かさない障害物の一部とみなす)

(d) 障害物によって囲まれた花壇

5. コースと不可分の部分

ウォーターハザード内にある人工の壁や杭でできた構造物。

6. 防球ネット

7 番ホール右側の防球ネットに球が近接しているためにスタンスや、意図するスイングの区域の妨げになる場合、規則 24-2b(i)により処置するときは、その障害物の中や下を通さずに救済のニヤレストポイントを決めなければならない。

距離表

HoleNo.	1	2	3	4	5	6	7	8	9	OUT
AクラスYards	374	356	174	374	346	172	482	416	519	3213
BクラスYards	374	381	191	398	371	188	512	428	551	3394
Par	4	4	3	4	4	3	5	4	5	36

10	11	12	13	14	15	16	17	18	IN	TOTAL
547	384	357	167	374	347	170	416	478	3240	6453
575	412	379	188	403	364	207	436	514	3478	6872
5	4	4	3	4	4	3	4	5	36	72

競技の条件

1. 参加資格

プレーヤーは競技規定に定められた参加資格を満たさなければならない。

2. 委員会の裁定

委員会は競技の条件を修正する権限を有し、すべての事柄について、この委員会の裁定は最終である。

3. 使用クラブの規格

『適合ドライバーヘッドリストの条件・付属規則 I(C)1a』を適用する(ゴルフ規則 174 ページ参照)。

4. 使用球の規格

『公認球リストの条件・付属規則 I(C)1b』を適用する(ゴルフ規則 175 ページ参照)。

5. ゴルフシューズ

正規のラウンド中、プレーヤーが金属製・セラミック製、または委員会がそれと同等と認めた鋳を有するゴルフシューズを使用することを禁止する。この条件の違反の罰は競技失格。

6. プレーの中断と再開

(1) 通常のプレーの中断(落雷などの危険を伴わない気象状況)については、規則 6-8b、c、d に従って処置すること。

(2) 陰悪な気象状況にあるため、委員会の決定によりプレー中断となった場合、同じ組のプレーヤー全員がホールとホールの間をいたときは、各プレーヤーは委員会よりプレー再開の指示が出るまでプレーを再開してはならない。1 ホールのプレーの途中であったときは、各プレーヤーはすぐにプレーを中断しなければならない。そのあと、委員会よりプレー再開の指示が出るまでプレーを再開してはならない。プレーヤーがすぐにプレーを中断しなかったときは、規則 33-7 に決められているような罰を免除する正当な事情がなければ、そのプレーヤーは**競技失格**となる。

陰悪な状況による中断中は、委員会がオープンと宣言するまで、すべての練習施設はクローズとなる。クローズとなった練習施設で練習しているプレーヤーは練習を止めるように要請される。その要請に従わなかった場合、参加を取消しとすることがある。

(3) プレーの中断と再開の合図について

通常のプレー中断 : 短いサイレンを繰り返して通報する。

陰悪な気象状況による即時中断 : 1 回の長いサイレンを鳴らして通報する。

プレーの再開 : 1 回の長いサイレンを鳴らして通報する。

と同時に、無線及び、本部より競技委員を通じてプレーヤーに連絡する。

7. 練習

ホールとホールの間での練習を禁止する(規則 7-2 注 2)『付属規則 I(C)5b』(ゴルフ規則 179 ページ参照)。

8. キャディー(規則 6-4 注)

正規のラウンド中、プレーヤーが委員会によって指定された者以外をキャディーとして使用することを禁止する。この条件の違反の罰は『付属規則 I(C)2』を適用する(ゴルフ規則 177 ページ参照)。

9. 競技終了時点

競技委員長の成績発表がなされた時点をもって終了したものとみなす。

注意事項

1. 競技の条件 5 項において規制されるシューズ以外にもパッティンググリーンに著しく損傷を与えるシューズは使用禁止とすることがある。
2. 予備グリーンは定義上「目的外のパッティンググリーン」であり、球が目的外のパッティンググリーン上にある場合、プレーヤーは規則 25-3 に基づいて救済を受けなければならない。
3. 競技委員会は競技中を含めいつでも、出場にふさわしくないと判断したプレーヤーの参加資格を取り消すことができる。
4. 打放し練習場においては備付けの球を使用し、スタート前の練習は 1 倶楽部 8 コイン(200 球)を限度とする。

競技委員長 児島幸雄